



【ドライブレコーダーを活用した指導・監督マニュアル作成にあたっての基本的な考え方】

- ✓ 法定事項を遵守するために実施すべき内容と、更なる安全性の向上のために実施すべき内容とを、2つの章に分けて作成。
- ✓ 中小の事業者が使いやすいよう、実際の映像の見方などについて、イラスト等を用いて重点的に記載。

ドライブレコーダーを活用した指導・監督の基本的な方法

【主な記載内容と構成(案)】

1. ドライブレコーダーの活用による事故削減の考え方
2. ドライブレコーダーを活用した指導・監督のフロー
(映像の収集→分析→個別指導・フォローアップ／共有)
3. 指導・監督に必要な映像の収集方法
4. 映像の確認のポイント
 - ・事故等の映像の基本的な見方
 - ・典型的な事故映像の見方の実例(数種類)
5. 事故等を起こした運転者への個別指導のポイント
6. 個別指導のフォローアップのポイント
7. ヒヤリ・ハット映像の共有(集団指導)のポイント
8. 初任運転者等への指導とフォローアップのポイント

ドライブレコーダーを活用した指導・監督のフローの順番に、具体的な手法を記載。

これらの点が指導・監督の中心になることから、事業者の意見参考にしつつ、イラスト等を用いて重点的に作成。

更なる安全性の向上に関する記載内容(検討中)

- ✓ トリガ記録を活用した映像の収集方法
 - ✓ トリガ回数、車間距離警報回数等を活用した、指導・監督の重点化方法
- 等について記載することを検討。